

妖 年間スケジュール 2025年11月～2026年10月

2025		2026										※スケジュールや内容が変更となる場合があります。			
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
新春企画展 妖気なもののけLIFE		2026午Ver.		11/21(金)～3/10(火)		春の企画展 狐と変化物語(仮)		3/13(金)～6/23(火)		夏と秋の企画展 付喪神と道具の妖怪(仮)		6/26(金)～11/10(火)			
										夏のパネル展 百鬼騒乱		～災いと妖怪伝承～ 7/16(木)～9/23(水・祝)			
秋の常設展		～12/16(火)		冬の常設展		12/18(木)～3/24(火)		春の常設展		3/26(木)～6/16(火)		夏の常設展		6/18(木)～9/15(火)	
11/30(日)	12/21(日)	1/25(日)	2/22(日)	スペシャルトーク 名誉館長 3/14(土)		サロントーク 館長 5/9(土)		6/28(土)	7/26(日)	8/30(日)	9/27(日)	10/25(日)			
	12/20(土)	1/17(土)	2/21(土)	3/21(土)	4/18(土)	5/16(土)	6/20(土)		7/18(土)	8/15(土)	9/19(土)	10/17(土)			
	ワークショップ 12/21(日)				ワークショップ 4/5(日)				ワークショップ 7/26(日)						
	もののけ クリスマス 2025 12/20(土)～ 25(木)	もののけ ミュージアムに 初もうで 2026 1/2(金)～6(火)	もののけ 冬まつり 2026 (もののけ節分) 2/1(日)～3(火)	開館記念日 (7周年) 4/26(日)	もののけ 春まつり 2026 4/25(土) ～29(水・祝)		もののけ 夏まつり 2026 (もののけ盆踊り) 8/15(土) 予定		もののけ 秋まつり 2026 (もののけ ハロウィン) 10/25(日)						
11/30(日)	12/21(日)	1/25(日)	2/22(日)	3/29(日)	4/26(日)	5/31(日)	6/28(日)	7/26(日)	8/30(日)	9/27(日)	10/25(日)				
毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	毎週水曜休	全日開館	毎週水曜休	毎週水曜休			
12/24(水)開館		1/2(金)から開館		2/11(水)開館		4/29(水)開館		5/6(水)開館		9/23(水)開館					
年末年始 12/26(金)～1/1(木・祝)				2/12(木)臨時休館		3/12(木)臨時休館		6/25(木)臨時休館							

※スケジュールや内容が変更となる場合があります。

妖気なもののけLIFE 2026午Ver. 11/21(金)～3/10(火)

今も昔も、私たちの生活の中には「妖怪」がモチーフの装飾品や工芸品、日用品といったさまざまな道具があります。本展示では、『人魚の皿』や『百鬼夜行図着物』といった、江戸時代から現代までの妖怪をモチーフにした道具を展示します。また、2026年の干支「午」に合わせ、馬に関する妖怪や「絵馬」を特集した展示も行います。



「人魚の皿」江戸時代以降

へんげ 狐と変化物語(仮) 3/13(金)～6/23(火)

稻荷社の眷属などとしての神性を持ちながら、人を化かす妖怪としても知られる「狐」。なかでも、江戸時代の丹後国を舞台とした「変化物語」は、狐の登場する妖怪物語の白眉と言える作品です。本展では「変化物語」を中心に、九尾の狐、白蔵主など、さまざまな狐に関する所蔵の資料を紹介します。



「変化絵巻」下巻(部分) 江戸時代

つくもがみ 付喪神と道具の妖怪(仮) 6/26(金)～11/10(火)

「付喪神」は長い年月を経た道具が靈性を獲得し変化した妖怪です。絵巻に描かれた付喪神は、恐ろしい存在でありながらも、どこか愛嬌がある姿で見る者の心を惹きつけます。本展示では、当館所蔵の『付喪神絵巻』を公開するとともに、多種多様に生み出された「道具の妖怪」に関する資料をご紹介します。



「付喪神絵巻」(部分) 江戸時代